8月10日は「道の日」

道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 628
令和４年３月号

発行所　全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話　03-3501-5611㈹
発行人　小林　勉
定価　20 円（会員の購読料は会費に含む）

令和４年度予算に向けた新規事業採択時評価手続きの着手

国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、新規事業採択時評価を実施することとしている。

今回、令和４年度予算に向けて、下記の新規事業候補箇所について、地方負担の負担者である都道府県等への意見聴取を開始し、新規事業採択時評価の手続きに着手した。

今後、都道府県等の他に学識経験者等の第三者から構成される委員会等の意見も聴き、評価結果をとりまとめる予定である。

※なお、今回の発表は、令和４年度予算における新規事業の採択可否を知らせるものではない。

新規事業候補箇所

【道路事業】

事業名	都道府県等
一般国道235号　日高自動車道　静内三石道路（静内～東静内）	北海道
一般国道236号　帯広・広尾自動車道　大樹広尾道路（豊似～広尾）	北海道
一般国道56号　四国横断自動車道　宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）	愛媛県、高知県
一般国道56号　四国横断自動車道　宿毛内海道路（御荘～内海）	愛媛県
一般国道218号　九州横断自動車道延岡線　矢部清和道路	熊本県
一般国道4号　野辺地七戸道路	青森県
一般国道7号　沼垂道路	新潟市
一般国道2号　広島南道路（木材港西～廿日市）	広島県
一般国道55号　奈半利安芸道路（安田～安芸）	高知県
一般国道57号　大津熊本道路（大津西～合志）	熊本県
一般国道4号　盛岡南道路	岩手県
一般国道7号　秋田南拡幅	秋田県
一般国道398号　石巻バイパス（沢田工区）	宮城県
一般国道17号　本庄道路（Ⅱ期）	埼玉県
一般国道17号　中村交差点立体	群馬県
一般国道19号　塩尻拡幅	長野県
一般国道8号　栄拡幅	新潟県
一般国道1号　浜松バイパス（長鶴～中田島）	浜松市
一般国道2号　岡山倉敷立体（Ⅰ期）	岡山県、岡山市
一般国道9号　出雲バイパス（神立～中野東）	島根県
一般国道3号　博多バイパス（下臼井～空港口）	福岡市
一般国道201号　仲哀拡幅	福岡県
一般国道202号　唐津バイパス	佐賀県

【港湾整備事業】

事業名	都道府県等
苫小牧港東港区浜厚真地区複合一貫輸送ターミナル整備事業	苫小牧港管理組合
広島港出島地区国際海上コンテナターミナル整備事業	広島県
細島港工業港地区複合一貫輸送ターミナル整備事業	宮崎県

【海岸事業】

事業名	都道府県等
千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業	千葉県

令和4年3月12日（土）　開通

都城志布志道路　乙房IC～横市IC

～物流・雇用促進・医療活動などを支援～

国土交通省が整備を進めてきた、都城志布志道路（乙房ＩＣ～横市ＩＣ）が令和４年３月12日（土）に開通した。

都城志布志道路は、日本有数の畜産地である都城市と国際バルク戦略港湾である志布志港を結び物流や企業立地による雇用促進および広域的な医療活動などを支援する高規格道路である。

【開通日】
令和４年３月12日（土）

【開通区間】
都城志布志道路（乙房ＩＣ～横市ＩＣ）／延長３・０km

【開通による整備効果】

◇物流効率化等により産業活性化に寄与

都城市は畜産業が盛んな地域で畜産業産出額は約736億円と全国1位を誇っている。畜産に必要な配合飼料（家畜のえさ）は、志布志港周辺の工場で加工され、都城志布志道路を経由して畜産業者へ輸送されている。

今回開通区間までの整備により、志布志港～都城ＩＣ間の輸送時間が約13分短縮され、安定的な製品の出荷・搬送が可能となり地域産業の活性化に寄与する。

◇地域を代表する企業の物流を支援

都城志布志道路の沿線には、地域経済を牽引する主要企業や、志布志港を活用した海外輸出が増加傾向にある企業等が立地しており、物流利便性の向上が期待される。

都城市の企業では、近年の自然災害に伴う道路の通行止などの影響を回避し、製品を確実に出荷するため、志布志港を利用した海上輸送も進められるなど、都城志布志道路は地域の産業振興に寄与する。

◇企業立地や雇用者の更なる増加を支援

都城志布志道路の整備に伴い都城ＩＣと志布志港とのアクセス性が向上したことで、都城市では平成23年度以降114社の企業進出があり、約3，300人の新規雇用が創出された。

都城ＩＣや志布志港周辺では、今後の道路整備により更なる企業進出が期待されることから、新たな工業団地の造成が進められており、企業進出による更なる雇用創出が図られ地域活性化が期待される。

◇広域的な医療活動や連携強化に寄与

都城市を中心として三股町、曽於市、志布志市は「都城広域定住自立圏」を形成している。

曽於市・志布志市等の周辺市からの都城市都医師会病院への外来来院者数は、都城志布志道路の整備に伴い、増加傾向にある。

都城志布志道路の全線開通により広域ネットワークが形成され、「都城広域定住自立圏」における高次医療施設へのアクセス強化や医療連携の強化が期待される。

◇豪雨による冠水時の迂回路を確保

国道10号は近年、台風等の豪雨時に道路が冠水し、通行止めが発生している。

都城志布志道路の整備により、冠水時にも迂回可能なルートが確保されることで、国道10号を通過する交通の代替路として機能することが期待される。

◇都城市街地の渋滞が緩和

並行する国道10号の市街地中心部の平江（仮）～甲斐元交差点では、旅行速度が20km／h程度に低下するなどの主要渋滞箇所が連続しており、常に混雑している状況である。

都城志布志道路の整備により、並行する国道10号や周辺道路の交通が転換することで、都城市街地の交通混雑の緩和・交通事故の減少が期待される。

令和4年3月19日（土）　開通予定

東広島呉自動車道　阿賀IC立体化

～阿賀IC周辺の交通がスムーズに～

国土交通省が整備を進めてきた、東広島呉自動車道阿賀ＩＣ立体化が完成し、令和４年３月19日（土）に開通する。

【開通予定日】
令和４年３月19日（土）

【開通区間】
東広島呉自動車道（阿賀ＩＣ立体化）／延長０・９km

【開通による整備効果】

◇先小倉交差点を中心とした渋滞の緩和

先小倉交差点付近でピーク時速度の低下が著しく、先小倉交差点を先頭に東広島市方面へ交通混雑している。

また、東広島呉自動車道と阿賀中央町田線の交通錯綜により、速度低下が発生している。

今回の立体化により、呉市街方面～東広島市方面の各流動がスムーズとなり、先小倉交差点の渋滞緩和が期待される。

◇先小倉交差点で発生する交通事故の減少

先小倉交差点内では、事故が多発しており、全体の事故件数の約７割を右左折での事故が占めている。

特に呉市街～東広島市の各方面に向かう際の事故が多く、今回の立体化によって交差点を通行する車両が減少し、先小倉交差点内の事故減少が期待される。

◇高次医療施設への安定した救急搬送

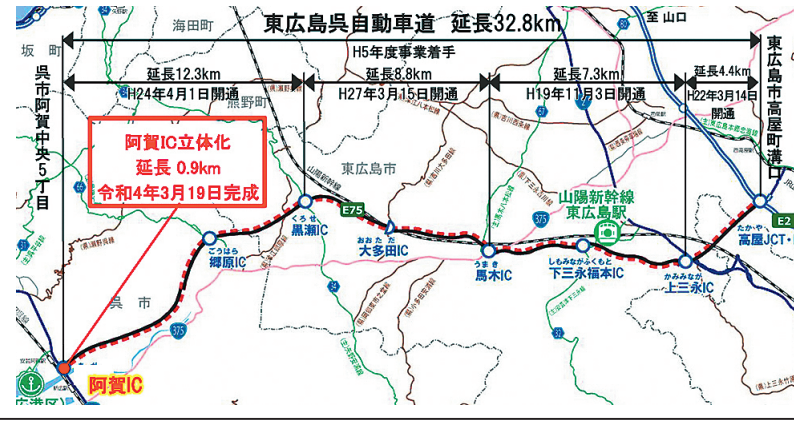
東広島市から第三次救急医療施設である呉医療センターへの搬送件数は平均80件／年であり、迅速な搬送が求められているが、阿賀ＩＣ出口の混雑時は一般車両が避けても救急車両の通行が困難な状況である。

今回の立体化により、東広島市から呉医療センターへの救急車両の走行性が改善し、スムーズな搬送に寄与することが期待される。

◇空港アクセス性の向上

広島空港からの目的地として呉市は広島市に次いで多くなっており、先小倉交差点などの混雑により、速度低下による所要時間のばらつきが発生している。

今回の立体化によりピーク時の混雑が緩和され、広島空港～呉駅でのバス走行時間の安定性向上が期待される。



令和3年度
「道路ふれあい月間」
推進標語

『ゆずりあい　道路で示す　日本の美』

“道路総合システムサービス”企業
NICHIREKI
ニチレキ株式会社
東京都千代田区九段北4-3-29　TEL 03(3265)1511代表